

平成27年度

## 第18回 いきいき市民のつどい

## 希望のひとづくり、まちづくり

～次世代におもいを伝えたい～

岸和田市では、さまざまな学習や地域の活動をしている人たちがたくさんいます。これからもっと“いきいき”と学び活動するために「持続可能な活動やまちづくり」について一緒に考えてみましょう！



講師 神戸大学大学院  
まつおか こうじ  
松岡 広路 教授

人間発達環境学研究科  
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター  
ボランティア社会・学習支援部門

第1部 後継者をいかに育成するか

第2部 私たちはどんなまちをつくりたいのか

日時

平成28年1月23日(土)

午後1時30分～4時

会場

産業会館

(別所町3-13-26)

生涯学習のまちづくりを、市民ぐるみで推進するために設置された生涯学習推進本部。みなさんと生涯学習について考え、連携と協働による社会的ネットワークの構築をめざす学習機会と交流の場として「いきいき市民のつどい」を企画・運営しています。

主催：岸和田市・岸和田市教育委員会 岸和田市生涯学習推進本部



# 希望のひとづくり、まちづくり

～次世代におもいを伝えたい～

開催要項	1
開会のことば（岸和田市生涯学習推進本部 西村 令子 委員長）	3
主催者あいさつ（岸和田市 <small>しぎ よしのり</small> 信貴 芳則 市長）	4
希望のひとづくり、まちづくり～次世代におもいを伝えたい～	
当日資料	7
第 1 部 後継者をいかに育成するか	
	9
第 2 部 私たちはどんなまちをつくりたいのか	
	18
資料編	26
アンケート用紙	27
アンケート集計結果	29
リフレクション・シート	36
リフレクション・シート集計	37

## 第 18 回 生涯学習<いきいき市民のつどい>開催要項

### 《開催趣旨》

生涯学習に関する活動や生涯学習をテーマとした語り合いなどのイベントを開催し、市民の生涯学習に対する関心を高める。また、参加者が生涯学習について考えふれあい、講演等を聞くことで連携と協働による社会的ネットワークの構築をめざし、学習機会や交流の場を提供することで、本市の生涯学習活動を一層推進する。

### <全体テーマ>

# 希望のひとづくり、まちづくり

## ～次世代におもいを伝えたい～

1 日 時 平成 28 年 1 月 23 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時 00 分

2 場 所 市立産業会館 2 階集会室 (別所町 3 丁目 13-26)

3 内 容 開 会 午後 1 時 30 分～1 時 40 分

講 師：神戸大学大学院 教授 松岡 広路<sup>こうじ</sup> 氏

第 1 部 「後継者をいかに育成するのか」

第 2 部 「私たちはどんなまちをつくりたいのか」

4 目標参加者数  
及び申込方法等

全 体 200 人

生涯学習推進本部関係団体からの参加 150 人

※ 各団体は参加者名簿を 1 月 15 日 (金) までに事務局へ提出する。

一般の参加者

50 人

※ 電話・F A X・電子メール又は窓口のいずれかの方法により、申し込む。(住所、氏名、電話番号が必要)

なお、保育(1歳半～小学3年生 先着 15名)や要約筆記・手話通訳等の希望者はその旨も申し出る。

締め切りは 1 月 15 日 (金)。

※チラシ、ポスターのほか「学びのプラン」「広報きしわだ」等で開催案内をする

5 申込及び  
問 合 先 岸和田市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課  
岸和田市堺町 1-1 (市立公民館内)

電話 423 - 9615～6 F A X 423 - 3011

電子メール syogaig@city.kishiwada.osaka.jp

6 主 催 岸和田市生涯学習推進本部・岸和田市・岸和田市教育委員会

## 7 当日次第

【開 会】午後1時30分～1時40分

- 1 開会のことば 岸和田市生涯学習推進本部 西村 令子 委員長
- 2 主催者あいさつ 岸和田市 信貴 芳則 市長

希望のひとづくり、まちづくり～次世代におもいを伝えたい～

講師 神戸大学大学院 松岡 広路 教授

【第1部】午後1時40分～3時10分

### 「後継者をいかに育成するか」

《 休憩 》10分

【第2部】午後3時20分～4時

### 「私たちはどんなまちをつくりたいのか」

《講師紹介》

神戸大学大学院 教授 松岡 <sup>こうじ</sup> 広路 氏

人間発達環境学研究科  
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター  
ボランティア社会・学習支援部門

1960年 生まれ

生涯学習、社会教育、福祉活動の研究的実践を多方面で積極的に行っている

専門領域：生涯学習論、人権教育、ESD(持続可能な開発のための教育)

所属学会：日本福祉教育ボランティア学習学会、日本社会教育学会

主な著書：『生涯学習論の探究』学文社 2006.12

『希望への社会教育～3・11 後社会のために～』東洋館出版社 2013.9

## 開会のことば

### 岸和田市生涯学習推進本部 西村 令子 委員長

皆さまこんにちは、岸和田市生涯学習推進本部委員長、西村令子でございます。

この「いきいき市民のつどい」は今年で18回目を迎えました。ここ数年パネルディスカッション形式で、さまざまな活動をされているパネリストの方々にお話しいただき、会場とのやりとりも取り入れ好評でした。

一方で、アンケートには講師のお話をもっとしっかりとお聴きしたいという声がたくさんありました。そこで、今回は講師のお話をお聴きし、会場からも意見をいただく形式をとりたいと、講師の松岡先生にお願いをいたしました。

今回のテーマは「希望のひとづくり、まちづくり～次世代におもいを伝えたい～」です。

第1部に「後継者をいかに育成するか」、第2部で「私たちはどんなまちをつくりたいのか」をテーマに神戸大学大学院 松岡広路(まつおか こうじ)教授をお招きしてお話をお伺いします。

今年は、オリンピック・パラリンピックがブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催されます。私たちに夢と希望、感動を大いに与えてくれることでしょう。また阪神淡路大震災から21年、東日本大震災から丸5年が経ちます。防災意識が高まり家庭で、地域で、防災対策を進められていることと思います。

まちは、人と人が繋がってつくられていくものだと思います。そのためには、学習は大切であると活動を通じて実感しています。

岸和田市では、さまざまな方が活発に生涯学習の活動に取り組まれています。本日ここに、お集まりの多くは、次世代もいきいきと暮らせるように、そのおもいを伝えたいと活動を続けてこられた方々だと思います。しかし、後継者や活動の持続に課題を抱えておられるグループも多くあり、希望もてる岸和田を次世代に伝えていくためには、いま、何が必要なのか先生のお話をお聴きし考え、そのことがこれからの活動の活力になればと願います。

簡単ではございますが、開会のことばとさせていただきます。皆さまどうか、最後まで、よろしく願いいたします。

## 主催者あいさつ

### 岸和田市 信貴 芳則市長

皆さま、こんにちは、市長の信貴でございます。

本日は、「いきいき市民のつどい」を開催しましたところ、ことのほか寒さが厳しい中、多くの方々にお越しいただき感謝申し上げます。

平素は本市の生涯学習の推進に多大なお力を頂戴し、あらためてお礼を申し上げます。



本市では、公民館や青少年会館だけでなく学校をはじめとする様々な施設で、あらゆる課題をテーマとして生涯学習活動が盛んに行われています。

しかしながら一方で情報技術、科学技術の進歩やグローバル化、少子高齢化の問題、国が抱える課題は、岸和田市としても例外ではありません。課題に対し、迅速に情報共有しながら、生涯学習の普及・啓発は重要で必要なことであります。

今回 18 回目を迎えた、この「いきいき市民のつどい」も、そうした課題解決に向けての大きなきっかけだと思っております。

本日は、「希望のひとづくり、まちづくり～次世代におもいを伝えたい～」として、神戸大学大学院の松岡広路先生を講師に招き、ご講演をいただいた後に、それぞれのテーブルで活発な討論をお願いします。これも岸和田らしさです。小さな人数でお互いの意見をぶつけあいながら、最後どのように岸和田市を良くしていくのか、ぜひ、ご提案ください。

ESD（持続可能な開発のための教育）を、持続可能なまちづくりに向けて、熱い想いを次の代にも継承していく、このテーマをあげていただき、あらためて生涯学習推進本部の委員の皆さまに感謝申し上げます。そして、ご参加の皆さま本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。

結びにあたりまして、皆さま方の今後ますますのご活躍とご多幸とお祈り申し上げます。あいさつとさせていただきます。





# 希望のひとづくり、まちづくり

～次世代におもいを伝えたい～

第1部 「後継者をいかに育成するか」

第2部 「私たちはどんなまちをつくりたいのか」



講師：神戸大学大学院 教授 松岡 こうじ 広路 氏

# 希望のひとづくり・まちづくり ～次世代におもいを伝えたい～

神戸大学大学院人間発達環境学研究科学び系講座  
松岡広路（まつおか・こうじ）

## 0. 実践的研究、研究の実践

岩手県大船渡市の被災地での活動

ハンセン病療養所での活動

ESD（持続可能な開発のための教育）を進めるネットワーク化事業

ESD 学び隊（高校生・大学生の学習グループ）

## 1. おとなの学び・社会教育の本質

「希望の教育学」

希望を感じる場

希望を育む場

希望を伝える場

希望を形にする場

希望を広める場

でも、数々の問題が… なぜ希望を紡ぐような実践ができないのか？

どうしたらいいのか？

## 2. 深刻な後継者問題

- 現在のメンバーが疲れている、または疲れ始めている
- 中心的なメンバーが徐々に減ってきた
- 準備を手伝ってくれる人や活動をサポートしてくれる人が少ない
- 新しいメンバーがあまり入ってくれない
- 周りから「あの人たちだけでやっている」と見られているような気がする
- 新しい活動や企画を興そうとしても、しっかりと担ってくれる人がいない
- 連携や協働などが求められるが、負担に感じている
- 活動や集会がマンネリ化している
- 自分の団体や活動の良さを、うまく表現できない
- 数年後に組織や活動を引き継いでくれる人たちの見当がついていない

## 当日資料

### 3. どうしたら解決できるのか？ 解決のための工夫は？

みんなで解決策を考えて、  
これぞ、というものを、グループごとにひとつ提起！

### 4. わたしたちはどんなまちをつくりたいのか？

私たち自身の「希望」は何か？  
未来の後継者・次世代（子ども・ユース）に「おもい」を伝えたい。  
それは、どんな「おもい」なのか？

ポイント

- 
- 
- 
- 

### 5. 希望の人づくり・まちづくりに必要なもの

☆未来へのロマン

持続可能な開発を目指し続けている社会？

☆組織の5類型

血縁・縁故型

コミュニティ型

契約型

ネットワーク型

弱連携型

ネットワーク・弱連携型の組織づくり・場づくり 集団づくり

キーワード：「信頼」「情報共有」の理解

多面的・多様な事業を、フットワーク軽く、生み出せる組織づくり

### 6. 気づきのまとめ

## 第18回 いきいき市民のつどい

### 希望のひとつづくり、まちづくり ～ 次世代におもいを伝えたい ～

キーワード：ESD 持続可能な開発のための教育  
(Education for Sustainable Development)

#### 第1部 後継者をいかに育成するか



こんにちは、岸和田は暑い！寒い！とお話がありましたが高速から降りて窓を開けると、温かいなと思いました。わざと道を間違えて「産業会館はどこですか？」と人に聞きながら来ました。おばあちゃんに聞いてみました。とても詳しく教えてくれ「優しいな」と感じて、これならどこに行っても大丈夫だと思いました。今日は大成功だと思いました。

楽しみにしていることは、岸和田で学習し、人をつくり、まちをつくる想いを持っている人たちと出会うこと。私と同志、志が同じ方がこれだけいる。どんな想いをしているのか、どんな冷めたところをもっているのか。ふれあえたら最高だと思います。もっとふれあいたい、そう思えたら、成功だと思います。

与えられた時間は3時間。私の講義だけを聞くだけにすると、私にもう二度と会いたくなくなると思います。それは寂しいです。「講演後に話し合いを入れてほしい」と依頼していますが、1時間半聞いたら疲れますよね。そこで私の話もするが、皆さんの意見も出てくるようにしたいとごねてみました。人数が100人ほどいるからグループワークは難しいと言われたのですが、「絶対できる」と言いましたので、ご協力をよろしくお願いします。

お手元に、たくさん資料があります。私の写真が載っている資料だけを残して、後はしまってください。机の上をクリアにしてください。

今日のお題、テーマどおりですが、サブタイトルに大きな価値があります。



私は神戸に来て21年になります。阪神淡路大震災後、若い頃に神戸大学に来ました。専門が、ボランティア・社会活動など社会教育、市民が力を合わせ作り上げる分野です。神戸からいろいろなことを学びました。市民の力はすごい、よい意味で「ありんこパワー」があります。

人は重なるとうすごい力を発揮する、この20年間に学びました。学生に伝え、研究するだけでいいのだろうか、この学びをどのように活かせるかを考えてきました。ご恩返しには、実践を組み立て、実際に必要な学びを生み出すこと、社会が変わるように伝えていかなければならない。

いくつかの実践をやっています。

岩手県大船渡で、東日本大震災の復興と新しい町づくりのコーディネーターとして、町のつどい、アンケート調査、ヒアリングを住民でやってみようとサポートをして丸5年になります。神戸のNPOや神戸大学の学生、高校生や大学生も入ります。一緒になって「ありんこパワー」で支援をしています。

岡山県長島にハンセン病の療養所があります。大阪の外島保養院が1934年に室戸台風で壊滅し、1938年、岡山県に移転したところが長島です。

10年来ワークキャンプをやっています。ワークですから、力仕事です。これは若い人向けの活動です。高校生、大学生たちと一緒に、島に隔離されたものから、人間がいきいきできるようにしようと活動プロジェクトをやっています。ESD 変わり者ですね。

先ほど市長さんと控え室でお話ししましたが、熱いですね。ほんとうに市長かなと思うぐらい。個性的なエネルギー、いいですね。好きです。文句をいっても、跳ね返してくれる。なんでも言えそうな気がしました。ESDは持続可能なという言葉をつかった教育運動です。

例えば、PTA やこども会、福祉団体の代表など、「持続可能な」をキーワードにした時、自分たちの団体がではなく。あらゆる生命の存在が調和を保ちながら「持続可能なこども会」と言った時、環境、人を視野にいれて調和して長く共存共同できることを考えます。持続可能な岸和田を作るだとか、岸和田というまちが100年続くためには、みたいなことではありません。

あらゆる生命、存在を大切にする岸和田ということです。岸和田のことだけを考えるのではなく、いろいろなまちのことを考えていくこと、これが本当の意味です。

安倍首相も「持続可能な…」という言葉を使いますが、意味がわかっているのかどうか。

被災者たち、ハンセン病の人たち、今でも、そういう人たちがいる。あらゆる人の生命を大切にする、存在・文化を大切にする。そういう運動を進めることが大切です。

ESDをキーワードにしたプロジェクトをやっています。兵庫県神戸市では、いろいろな団体に集まってもらい、環境系の方々と力を合わせて取り組んでいます。事務局長をしていて、これがおもしろいです。レジメにもありますが、おとなの学び・社会教育の本質とは何か。プロジェクトに夢、ロマン、おもしろさを感じないと進まないと思います。社会教育という生涯学習では希望を感じられる、皆さん希望でわくわくしていますか？

希望を感じて欲しいです。誰かと話していると、希望が生まれる関係ってありませんか？ 家庭生活でもありますね。パートナーと話していて希望が出てくるような、良いパートナーはいませんか。希望を感じる場、希望を育む場、伝える・広げる場、上手くいっていますか？ 他の人は関係ない、知らないというのではいけません。希望を形にする、なんとなく楽しいは一過性で終わります。したいことが形になると大きな満足を得られます。社会教育などの中にあります。これがないとしんどくなります。団体でしんどくなることはありませんか？ 今回、担当の職員からは、松岡さんの明

るいところを出してくれと言われました。明るいこと言っていますが、そんなことはないのです。こんなたくさんのプロジェクト、うまくいくと思いますか？

大船渡の被災地支援は5年たってもほとんどうまくいっていない。まだ応急仮設住宅にたくさんの被災者がいて切ないです。5年間で、亡くなった方がたくさんいて、ここを出て行けるかな？と思うし、出て行けるかなと言っている人が亡くなると残念です。一緒に活動している人たちのダメージも大きい。無駄だと去って行く人もいる。しんどいです。学生集団が中心の時も、ある学年は活発ですが、次の年になると、次世代がうまく引き継げなくて、どうやったら続くのか、いいことをしているのに長続きしないという悩みはあります。毎年、その問題で胃が痛くなります。

ハンセン病の療養所の活動も10年続けていますが「ありんこパワー」で町を開拓すると、つどいの広場を島に作ろうと活動していますが、何年やってもなかなかうまく進まない。だんだん悩みが深くなり、これから活動をどうやって継続させるのか、後継者はどうなるのか。プロジェクトは、私がリーダーシップをとっているので、私がこけると皆がこけるのでは。誰が引き継いでくれるのか、とても不安です。

第1部のテーマは「後継者をいかに育成するか」いかに見つけるか、自分をサポートしてくれる人がいるかどうかを皆さんと一緒に考えます。

成功事例として、こうすれば後継者が育ち、見つけられるなどを一緒に考えていきたい。私のためにこの会があるようです。レジュメに書かれているのは、私の悩みです。皆さんに、この悩みがあるかどうかチェックしてください。深刻な後継者問題の部分。自分がやっていることを想定し、当てはまるものがあるのかを確認してください。「現在のメンバーが疲れている」「疲れ始めている」などあればチェックしてください。これらは私の不安ですが、いかがですか？チェックが1つもつかなかった人は挙手してください。

あ！いる。インタビューしましょう。どちらからですか？

女性／「NPO法人です。新しいので、これから直面するかもしれません。」

松岡／6個以上、重傷です。5個未満が多いですね。後継者育成のアイデアをいただきたい。

それでは、ここからグループで共有し、グループの人が何個のチェックがついているのかわかるようにコミュニケーションしてください。あとから抜き打ちで聞きますからね。

個人の持ち時間は30秒ぐらい。話し合いは慣れていると思いますが、ルールはまず、積極的に話すこと、進行役を決めること。進行役は、場をコントロールできるといいですね。そして耳を澄ますことです。「自分が大きな声で伝える」のではなく、人の意見を聴く。小さな声に耳を澄まして聴く。ところが目を見て話すには、人数が多いのです、話し合いに理想的な人数は3人です。皆さんの力が必要です。本当に耳を澄まして、丁寧に聴いてください。地声がかいし、話したい人がい

れば、仕方がないです。自然にできればうれしいです。時々、違う人の意見も聴きましょう。できますよね？ 耳を澄まして聴くことが一番、大事です。

後継者問題で私はこう思う、ない人は「無い」でかまいません。時間は7分良いですか。短い時間ですが、グループで紹介し合ってください。

フランクに話してしまいました。それに負けず、アピールしないように7分間、グループで話をしてください。シートをチェックして、誰が何個チェックしたか把握してください。

※グループワーク（7分）



7分経ちました。確認できたグループは手を挙げてください。まだ途中のグループもあると思いますが、ストップしてください。全員、終わっていないと思いますが、後継者育成は、課題もたくさんあり、どうすれば解決できるのか、後継者を育てる場合には工夫が大切、これについて話をしてもらいたいです。

今度は目標があります。各グループ、A3の紙1枚を使用します。グループで後継者を育てるための工夫として、こんな工夫が大切だという内容を1つだけ書いてください。たくさんあると思いますがグループで1つだけ書いてください。たくさんの中から1つを選ぶのは大変だと思います。大切なことは、他のグループでは出ないものを出してください。誰でも思いつきそうなものではなく、ちょっと変わった工夫を話し合いをして大きく1つ書いてください。

15グループあるから、15個のアイデアが出るので、これをベースにして後継者育成にこういう工夫があるかを見ていきたいです。他のグループからは出ないような工夫を出してください。大切だけど面白い。緊張しないでね。そんな簡単に育成できれば苦労はしません。こんなんがあったら良いなと思える工夫を見つけてください。もちろん真面目に、他にない「秘訣」を出してください。時間があまりないので10分間で、いろいろ話をして最終的にA3の用紙に大きな字で1つ「秘訣」を書いてください。

#### ※グループワーク（10分）

まだ途中のグループもあると思いますが、書けたグループは前に持ってきてください。こちらに貼り付けたいと思います。

「やりすぎない。やさしく見守る」



深いですね。メンバー間ですかね。来ている人たちに対してですかね。自分がやりすぎないということもあるし、言い過ぎないもありますね。「やさしく見守る」私はできないのですよ。課題を解決するような活動の時には、優しく見守ることができないことがあるのです。震災復興の支援活動の時には、いつまでに未来予想図を書き上げるのだと期限を決める。事務ワークを自分たちでやると決めた時、徹夜に近い状態です。

コンサルがすることを3日くらいです。ブラック企業並みにやってしまうと燃え尽きてしまう。残った人がいい人ではない。自分たちはできたと思うので、組織でうまくやるには意識的にしないとできない。周りの人たちに厳しくなる。やり過ぎないことは、その通りです。

「スターをつくる」

松岡／ニュアンスを教えてください。



女性／スターを作ればファンがたくさんでき、いろんな方が入ってくれると思った。たくさんのスターがいれば、自分がスターだと思う人がたくさんいれば、もっとたくさんのファンが集まる。ファンができ集団づくりができるのではないかと思います。

松岡／NPOのリーダーは絶対に考えますよね。議員さんも、気にしますよね。

「メリットのみを伝えて とにかく来てもらう」

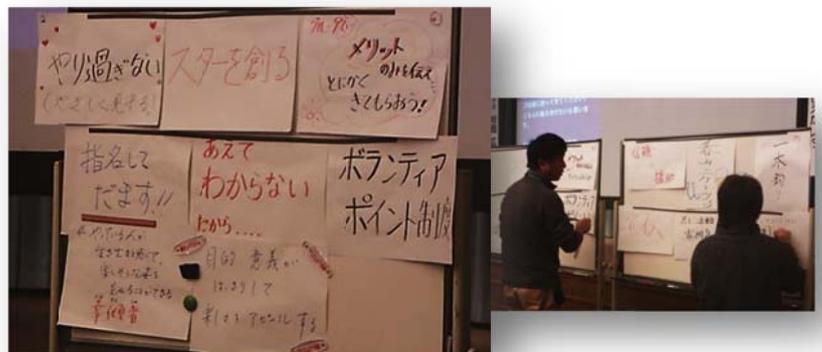
松岡／私もしたことがあります。実際に、おもしろいとか良いよとか。責任が取れなくなる時がある。「言ったことと違うやん」と言われる。看板倒れ。これを経験しているグループはありますか？ 期待に応えられない経験ありますか？ 私はしょっちゅうあります。これはよい経験になります。はったりを自分の活動で伝えると、来た人から「違うやん」と言われる。実はどうメリットを言えばいいのか、メリットはあるのか考えるきっかけになる。

「指名していただけます！！」

「1本釣り」

松岡／当然、これもやります！  
だますほうは、後ろの班。

松岡／一本釣りはどういう意味？



男性／一本釣りとは、この人ならば！という人がいる。どこの団体でもあるが受けてもらえない。新しく人を入れるとしてもメンバーの輪を壊すことも怖いので、厳選しなければならない。一本釣りが鰹のように何本もあればよいが、人を見て入れてお願いします。騙すわけではございません。

松岡／騙すとは、遊びことばですね。指名して騙すとはどういう意味？

男性／どの団体も、後継者で困っている。入ってもらわないと困るので、騙してでも、名前だけですよという感じでも、入ってもらってから楽しさを実感してもらう。

松岡／どちらも深い意味がありますね。一本釣りは人を見極める。しっかりと見極めましょうと。良さを気づかず、見過ごしている。本当はリーダーやスタッフになれるのに、なれないと勝手に思っていることがある。忙しいほどあります。いま、グサツとききました。私も、次指名する人がいないと錯覚していました。仕方ないから、誰かに頼むと、育つ場合もある。これは私の見る目がなかった。ちゃんと見ないといけない。指名して騙すは私もします。会議に来てもらう。今日、嫌々来た人は、土曜日ですからね。来てくださってありがとうございます。これも騙したようなもの。仕方ないから来たとい

うのもあります。来て、話をしてみたら、来てよかったと思ってもらったら、次が勝負です。なにか意味があると感じてもらう。では次の週に来るかと思ったら、まだまだ。あなたのご趣味は？休日は何をしていますか？

男性／冬はスキーで夏はヨット。

松岡／私と同じです。来週もう一度このつどいがあり、またあなたが来てくれるとは限りませんね。半年後にこのつどいがあった時、あなたのスケジュールが空いていたら、行ってみようかなと思ってもらった時に、一緒にスタッフになりましょうと声かけできればしめたものです。そのタイミングが一本釣りにつながります。その人をよく見てなかったらタイミングがわからない。相手にみんなお任せです。

「信頼と援助・飲みニケーション」

松岡／ちょっとふざけていますね。酒で出会う教育です。青年団が活発だったころの話。酒を飲みながら話をする。昔の日本人は酒が強くなかったけど。「飲みニケーション」は、信頼を作ることがキーワードですね。時間がないので次行きます。

「ボランティアポイント制度」簡単に説明を。

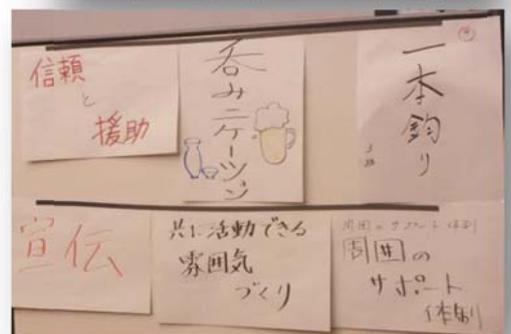
女性／時間が無かったが、何かいいことがあればと思った。

松岡／良いところは積み重ねること。話をしてもらったら1ポイントとか、目に見えると自分はこのことをしたと見えてくる。何をやってきたのかわからないとか、何もしていないと思う時があります。その時、ボランティアポイント制度があれば、意味が出てくる。

男性／意味が違う。町会では、やめる時にポイントがあれば、次の役員をしなくてよい。

松岡／ポイントがたまれば次はやらなくていい。周りが休むことを認めてくれます。それもひとつの方法ですね。これに近いのは、お願いする時の方法で1週間に1回だけとか、365日間で、あなたの時間を1年間で5時間だけで何かができるとか言います。大阪に多いんですよ。相対的な言い方をします。当たり前ですが、任期のように1年間だけやる。それと関連してきますね。あと5分。

「幸傾者（こうけいしゃ）」



松岡／やっている人がいきいきと感じて楽しそう、岸和田市の議員さんは楽しそうで素敵です。

そうでなければ議員にならない。議員だけでなく、各団体も楽しくないと。

私は去年1年間、元気がなかった。疲れて、精神的にもまいってしまった。一緒にやっていたスタッフが亡くなり心の喪失感があり、元気が出せず、会議などはウンケルを飲んでやりましたが。周りの人も元気がないと思うわけです。それを励ます人も出てきました。松岡の元気がなければと、がんばってくれたけど、うまくいかない。だんだん人が来なくなる。私に元気がでてくると人もまた集まる。スターが一人ではなく、複数できると最高ですね。ただ、スター同士が喧嘩することがあります。某婦人会は大変でした。スターがたくさんいて、スター同士が光を失う。地域は逃げられないから。お互いの仲が良くないと悲惨です。世代を超えて対立はあるかと思う。調整をどうするか悩みます。

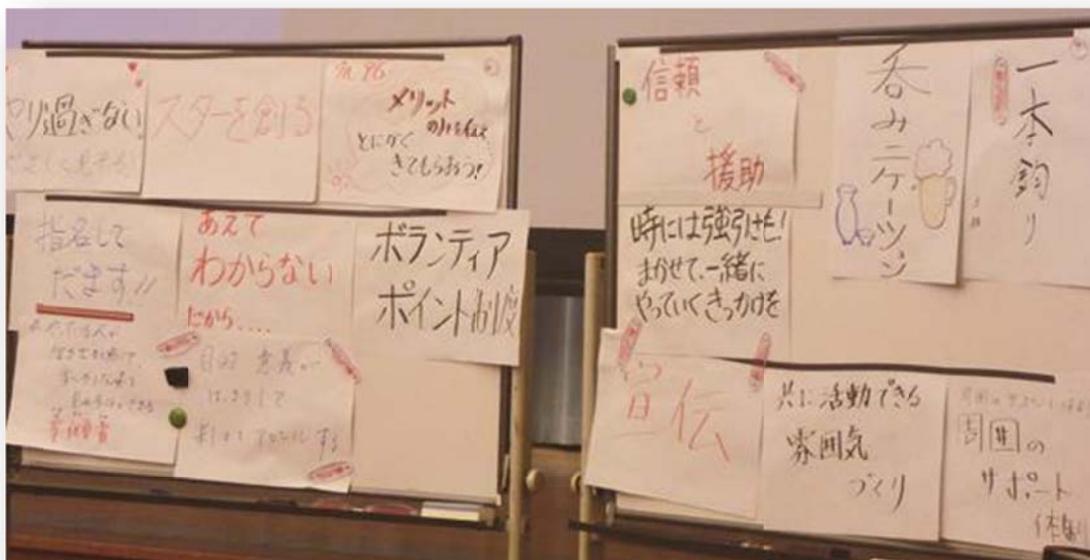
うちもスターがたくさんいます。ファンがいて、ついていきます。これでプロジェクトをやるとギスギスします。スタッフ同士が殺伐として議論をする。どんな雰囲気かわかりますか？相手の声を聴かない。事柄について自分の意見を言う、それに対し相手に何も言わせない。最後は勝つか負けるか。この殺伐さを避けるため、こうして話をして、もし、ここにケーキがあれば殺伐さがなくなる。コーヒー飲みながらやりましょうとか。工夫が必要です。



「宣伝」できる、

「サポート体制」「時には強引さも」

松岡／あなたのところ？ 任せてしまう、人間ができないといけないのかなあ。任せなさいよと、言ってくれる人がいるといい。一生懸命やってくれるのはいいのですが、少しは任せることも必要。周囲のサポート体制が大切なのかもしれません。



いろいろな意見をだしていただき、私自身が整理できました。後継者を育てるとき、目の前の人を育てることや、すぐに何とかしようとするのは、諦めがちです。皆さんから教えてもらった気がします。

長い時間をかけて、後継者を育てたいと思うことがあります。今、ターゲットは小学生たちです。小学生たちはピュア。大人が楽しそうに、時には眉間にしわをよせていることに関わっているのは、きっとその先に、小学生が大きくなった時に、なにかできるのではと思う。ハンセン病療養所でも、大人はボランティアになかなか来ないが、中学生は手伝ってくれる。彼らは分らずにやっていると思う。草刈りしたり、土を掘ったり、楽しそうにやってくれる。私たちが今やっていることを、子どもたちが、数年後に考え、いずれ活動を引き継いでくれるかもと、将来に対してロマンを感じています。子どもと飲みにケーションはできないですが。我々がターゲットにしたいことを、もっと先の人に伸ばしていく。子育て支援とか、学校支援地域ボランティアも。地域本部を作るとか、地域と繋がりたいと活動している人がいる。これ自体が閉鎖的だという話もありますが、学校と地域が連携することは、後継者育成で大切なことだと思っています。私は学校が嫌いだった。先生すいません。いいものも育てられたが、失ったものもたくさんある。今の学校がいいとか言っているわけではないが、学校と外の社会が思いを伝える場としてどう繋がるのか。強引にやってもダメ。私たちがよいと思っても、先生は子ども達の顔を見ているから、授業の組み立てにあわせて、繋がればいいが、こちらの思いが伝わるのには2～3年かかります。

ハンセン病施設の支援に来てもらっているが、10年前に声をかけて、やっと1年くらいで繋がる。すぐにできることはないが、学校との連携は大事。最近、ボランティア効果。ESDは、ビジネスを展開しているところがでてきた。コミュニティビジネスやソーシャルビジネス、NPOには多くなってきている。ある団体のファンだという人で、あなたのファンがいる。ボランティアが豊かにいる。でも、一方の団体は、しかめっ面でボランティアがいない。両方の活動が連動して、お互いにボランティアが移動しやすくする。ボランティアは自由人ですから、もっと移動しやすく限られたボランティアが、いろんな団体に入り込むことで、どこかで誰かのファンが他のグループのところがおもしろいことやってくれる。この考え方で、いろんな団体に繋がり、限られたボランティアが活動できるように交通整理するプロジェクトをしている。

「ロマン」

ウキウキする、希望がわいてくる。ロマンティック。福祉の世界は、ロマンティックです。出会いが良かったのだと思います。逆に環境保全には感じない。どこまでロマンティックな事業を作られるか。私たちはどんなまち、生活する空間、どのような生き方をするかという考えに通じる。未来の世代も一緒に暮らすところ。皆さんでお考えください。どんなすてきなロマンが生まれるのかを共有したいと思います。

(3時20分まで休憩)

## 第2部 私たちはどんなまちをつくりたいのか

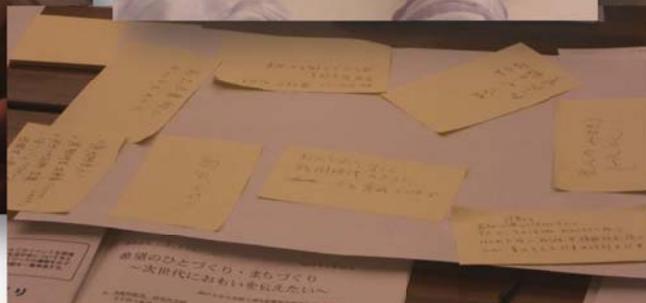
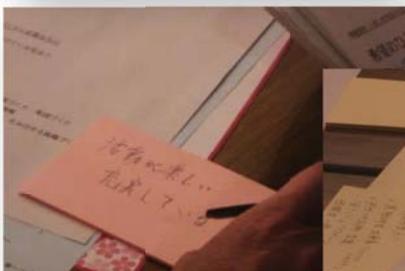
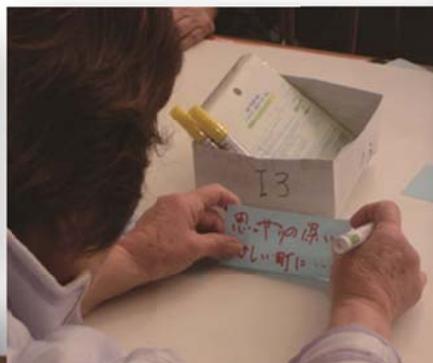
松岡／20分になりました。人が減ったところありますか？ 4人になった。ちょうど良い。

今回、後継者を育てる話がありました。本当に後継者を育てるほど価値のある活動とは、何か？私も常に自分に問います。10年スパンで考える時には、後継者が欲しい。例えば20年後、まだ生きていますよね。私も生きているかな。20年後にリーダーになってくれる人のイメージを持ってください。

テーマは「20年後に、どんな活動が活発な町になってほしいか？」自分たちの生活圏で、ご自身の立場で考えてください。自分の団体の中で、どんな活動が残っていて欲しいか、具体的である必要がある。例えば、月に1度住民全員で草引きをする町であってほしいとか。笑えない？現実的？この活動は20年後も残っているかな。20年後は町内会がなくなっているかもしれない。付箋(ポストイット)を分配して、一人ひとりが考えます。数が多いほどいい。活動を、たくさんのアイデアを書いてください。1つのカードに1つのアイデアを。付箋をメンバーに渡るように、分けてください。数は適当で良いです。グループごとにたくさんの意見を。質より量です。たくさんのこんな活動が活発になって欲しいか。

「どんな活動が活発になっている岸和田か？」ペンでもマジックでもいいです。グループでアイデアをまとめたら、こんな活動が活発な町と結論ができるように。本来2時間かかるものを30分でやるから焦っています。ご自身が関わっている団体でもいいです。岸和田の20年後は、こんな町と描けるように。アイデアを書いてもらいます。アイデア出しは時間を計ります。制限時間は3分。たくさん書いてください。思いつくものをどんどん書いてください。

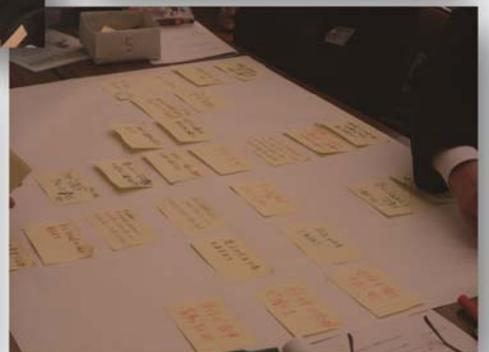
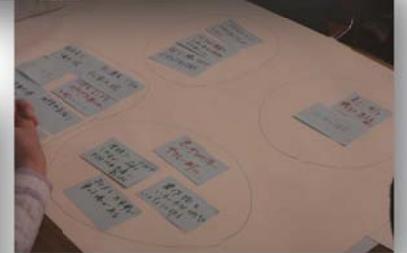
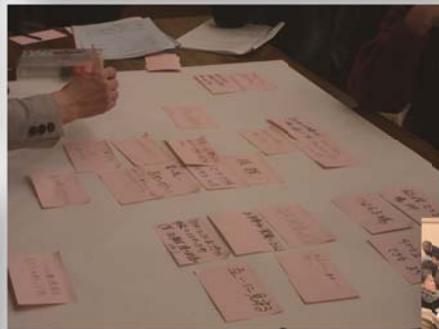
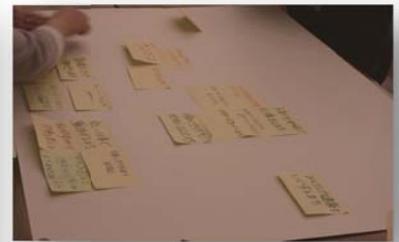
あとから消せば良いのですから。これから何をすればいいのかわからない人、わからなければ隣に聞いてください。(スタート)



(ストップ)

優しく見守れない松岡です。枚数はどうでもいいです。たくさん出ればよい。続けて、模造紙1枚を全面に広げてください。先取りをしているグループがありますね。模造紙を使います。書いたポストイットをお互いに紹介して、紹介していないものは、貼りません。

関連あるものは、近い所に。遠いものは、離れて貼ってください。模造紙上で、関連したもの、遠いものと分けて貼ってください。順番にすると時間がないので、ぐちゃぐちゃでいい。皆で参加できるようにしてください。皆さんの力に依存したワークショップです。時間を区切ります。特徴を貼り付けた後にマジックで囲ってください。キーワードなどを書いてもらってもいい。前に出したりはしないので、細かく書いていい。10分間です。20年後の岸和田、活発だったらいいなと思うものを書いてください。





時間です。これはじっくり作り上げるような作業ですが、短時間で作る力はすごいですね。驚きました。ここに来られている皆さんは自分の特徴を持って活動しているので、その特徴の観点から見た時、もっと発展させたい個人の思いがあると思います。話が止まりませんね。その思いが模造紙の中にありますか？見てください。描けていることに自分の思いがありますか？他の人の思いがこの模造紙にちりばめられていますか？今あればもっと欲しかったものが見えるかも知れません。ご自身のグループは理解されていると思いますが、作ってみた感想をどうぞ。

女性／自分の意見も出しましたし、みなさんの意見もわかりました。

松岡／ありがとうございました。どんなことに気づかれましたか？小さな気づき大切です。自分のグループだとわかりますが、他のグループには何が出ているか、それを当てるつもりで他のグループに旅してもらいたい。全員起立。イスを中に入れてください。入らない人はそのままいいです。自分のグループになかったものを探し求める旅を5分間で、探してください。できるだけ細かく札を読んでください。

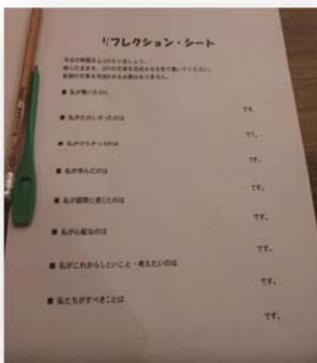
あと2分。元の席に戻ってください。





自席に戻ってください。お疲れ様でした。自分たちのグループのものをまた見て下さい。ほかのグループも見て、これは20年後、岸和田で活発になって欲しい活動が整理されています。私の説明がよくなかったのかもしれませんが、具体的な活動が出るというのではなく目指すものが出ています。自分たちで作り上げるものが、あまり出ていなかった。皆さんはどう考えていたか。いろんな感じたことがあると思います。

お手元に「リフレクションシート」があります。この文章を完成させるつもりで振り返っていただいてもらって、全部やらなくて良いです。無理矢理やる必要はなく、自分が書きやすいものを書く。目的は人に見せるためではなく、自分で感じたことをしっかり落とし込むためのものです。私が学んだのは、ファシリテーターが話しすぎてはいけないということとか、辛かったことは動かなければならなかったことなど。3分間でプラス面マイナス面を書いてください。全部書かなくて良いです。書けるところだけ書いてください。



時間です。かけたところまででOKです。どんなことがみなさんの心に残っていますか？  
少し聞いてみたいです。どれかひとつ読み上げてください。  
できれば、松岡にお土産（刺激）をください。感じたことなどお願いします。

女性／おどろいたのは、祭り関係。地域性があるのかなと思いました。

女性／私が学んだことは、みんなで出した意見を共有できたこと。

男性／無理をしないで、できることをできるだけすること。

女性／私が辛かったのは、考えが何も浮ばなかったことです。

松岡／ごめんなさい。無理があったと思います。もっと体などほぐしてあげてから、アイデア  
を出さなければいけないですね。

女性／私たちがすべきこととは、こういう機会にどんどん参加すること。

松岡／こんな機会に参加ではなく、スタッフでやってみませんか？面白いですよ。

男性／私が疑問に感じたのは、一夫多妻制。

男性／世代間、町会間の垣根を越えてすること。

松岡／すごいですね。垣根を越えてですね。

男性／今日は大勢きているなど、びっくりしました。

松岡／私も驚きました。寒いから70人くらいしか来ないかと思っていましたが。後継者を育て  
ること、まち作りと自分たちの学びの関連性を学びたかった。そうだと思う人は拍手を。  
この委員会のひとたちの設定の仕方がよかったと思います。拍手をお願いします。（拍手）



せっかくのものを共有できないのは、悔しいです。私自身は、どんなまちを作りたいかは、自分たちの活動を発展させるだけでは、描ききれません。神戸ではNPOがたくさんできている。でも、バラバラになってきていると言われていています。理由は、NPOは目的を達成するために作られたものだから。市長さんたちは困るのです。要望だけになると、他とのバランスがとれなかったり、他と折り合いがつかなかったり、特にお金の面です。他の団体やグループのしたいことに、協力することができれば皆さんで作れるはずですよ。どんな人たちでもできる。共通しているもの、文化活動など、まちづくりに必要な要素がある。

20年後の岸和田を考え、他のグループも支えて自分も頑張ることができるのか。地域の未来形図を、特にビジネス、経済、働き口、働き手、岸和田では考える必要はないかもしれませんが、外に出て行く人もいますし、岸和田でそのまま働く人もいます。理想的なのは、岸和田で育ち、学び、外を知り、岸和田に帰ってくる。このサイクルが大きいかどうかは人によって違います。いきいきとした動きが出てくるまちがいい。岸和田市民でない方もいるのに無視しました。ごめんなさい。こんな閉鎖的なものはいけないと思います。違う地域の人も交えながら、岸和田をどんなまちにするのかも大事です。

後継者は岸和田の人でなければならないことはない。「NPOここからKit」の方。あなたは、地域の人だけとは思っていませんよね。例えば、面白いと思ったら、神戸から来ても岸和田のことも理解してくれると思っています。だんじりは一緒に担いでみたいと思う人がいると思います。

いろんなものがでてくると思います。人と人が繋がるのは簡単に言うが、どんな人と繋がるのか。出会い方はいろいろ。だんだん仲間になることもある。人との出会いをどれだけ活発にできるか。その工夫を我々がどれだけできるかが大きなポイント。ひとりでやると疲れます。ユニケルを飲みながらやらないといけない。

今日は、周囲のサポートを教わったと思います。皆さんはいかがでしたか？ 岸和田だけではなく、関西近県や、いろんな地域と繋がりながらロマンティックな事業を生み出して、素敵な社会、素敵な地球を作っていければと思います。時間になりました。今日はこれで終わります。

ありがとうございました。(拍手)

松岡に見せてくれる方は、リフレクションシートを私にしてくれると嬉しいです。ついでに、名前と所属も書いてくれたらもっと嬉しいです。

文字通訳をしてくださった方たちがいます。この方に、お願いをして、すごく、よい形で、書いてくれました。ユニバーサルデザインとして。今後もよろしくお願いします。これがユニバーサルデザインです。ありがとうございます。文字通訳の方に拍手。(拍手)





# —資料編—

- アンケート用紙
- アンケート集計結果
- リフレクション・シート
- リフレクション・シート集計

平成 27 年度  
「いきいき市民のつどい」アンケート

1. あなたの性別 ( 男 ・ 女 ) 年齢 ( ) 歳代  
あなたのお住まいは A. 岸和田市 B. 市外 (市町村名 )
2. この「つどい」は、平成 10 年度にはじめて開催されてから今回で 18 回目となりますが、あなたは通算して何回目の参加になりますか？  
A. 初めて B. 2 回～4 回 C. 5 回以上
3. 参加回数が、2 回以上の方にお聞きします。  
今回、講演会でしたが、従前の、市内の活動団体による発表及び分科会形式と比べ、どうでしたか？  
A. よかった B. ふつう C. よくなかった D. 特に何も感じない  
その他ご意見 ( )
4. 二つのテーマを軸にお話いただきましたがお話はどうでしたか？  
・【第 1 部】後継者をいかに育成するか  
A. よかった B. ふつう C. よくなかった D. 特に何も感じない  
その他ご意見 ( )  
・【第 2 部】私たちはどんなまちをつくりたいのか  
A. よかった B. ふつう C. よくなかった D. 特に何も感じない  
その他ご意見 ( )
5. 講演等、希望されるテーマ等がございましたらご記入ください。  
( )
6. 「つどい」についてのご意見、ご感想等があればなんでもお書きください。  
( )
7. 「生涯学習」という言葉にどのような印象をお持ちですか？  
( )
8. どのような生涯学習活動に取り組んでいますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。  
A. 趣味的なもの B. スポーツ、レクリエーション C. 家庭生活に役立つもの D. 健康  
E. パソコン、インターネット F. 福祉 G. 環境 H. ボランティア I. 育児、教育  
J. 語学 K. リサイクル L. 自然体験、アウトドア M. 社会問題  
N. その他 ( )
9. 生涯学習をしていて、困ったことがありますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。  
A. 時間のやりくり B. 費用がかかる C. 施設が遠い D. 情報が分からない  
E. 施設が使いにくい F. 場所がとれない G. 利用手続きや講座の申し込みが面倒  
H. 仲間がいない I. 周りの理解がない J. きっかけがつかめない  
K. その他 ( )
10. 今回のこの「つどい」を何でお知りになりましたか？  
A. 市の広報 (ホームページ) B. 情報紙 (市の広報以外) C. チラシ・ポスター  
D. 知人などの紹介 E. 所属団体の動員要請  
F. その他 ( )

11. 「つどい」に参加しようと思った理由は？（複数回答可）

- ① 趣味・教養を身につけるため
- ② 学習のテーマに興味があったから
- ③ 受講料が無料だから
- ④ 参加しやすい時間帯だから
- ⑤ 会場への交通が便利だから
- ⑥ 講師が魅力的だから
- ⑦ 余暇を有意義に過ごすため
- ⑧ 友人を得るため
- ⑨ その他（理由： \_\_\_\_\_ ）

※今回、おおさかふみんネットより「いきいき市民のつどい」を発信させていただきました。

おおさかふみんネットをご存知の方は次の項目にもご回答ください。

**おおさかふみんネットとは**

大阪府と府内市町村が実施する生涯学習連携事業（広域講座）のことをいいます。府内を8ブロックに分け、ブロックごとに各自治体が公開講座や見学会などを行っています。どなたでも、どのブロックの事業でも参加申し込みができます。

■ふみんネットについてのお問い合わせは、大阪府文化・スポーツ課（Tel 06-6210-9323）まで。

■ふみんネットの各ブロックの事業は、大阪府文化・スポーツ課ホームページ「おおさかふみんネット」をご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/bunka/news/osakafumin.html>

12. おおさかふみんネットの講座に参加されるのは何年目ですか？

- ① 初めて
- ② 2年
- ③ 3年
- ④ 4年
- ⑤ 5年以上（ \_\_\_\_\_ 年目）

**今後、どのようなジャンルについて学習したいとお考えですか？（複数回答可）**

- ① 歴史・文学
- ② 社会・経済
- ③ 芸能・芸術・伝統・文化
- ④ 自然・環境
- ⑤ 人権・平和
- ⑥ 健康・スポーツ
- ⑦ パソコン・インターネット
- ⑧ 調理・暮らし
- ⑨ その他（ \_\_\_\_\_ ）

**感想（ご自由にお書きください。）**

ご協力ありがとうございました。

平成27年度  
『いきいき市民のつどい』  
**アンケート集計結果**

平成28年1月

◆ 参加者137人のうち、80人からアンケートの提出がありました。

**Q1 あなたの性別、年齢、お住まい**

男：39人 女：40人 年代無回答：1人 性別無回答：0人 合計：80人

年代 \ 性別	性別			合計
	男	女	無回答	
10歳代	0	0	0	0
20歳代	1	1	0	2
30歳代	3	1	0	4
40歳代	7	4	0	11
50歳代	3	8	0	11
60歳代	5	16	0	21
70歳代	17	8	0	25
80歳代	3	0	0	3
無回答	0	2	1	3
合計	39	40	1	80

岸和田市：67人

岸和田市以外：貝塚市1人、大阪市2人、堺市1人 泉佐野市1人、  
富田林市1人 無記名3人

(回答なし：4人)

**Q2 この「つどい」は、平成10年度にはじめて開催されてから今回で18回目になりますが、あなたは通算して何回目の参加になりますか？**

(80人 回答)

- A. 初めて 39人      B. 2回～4回 20人      C. 5回以上 21人

**Q3 参加回数が、2回以上の方にお聞きします。(対象41人)  
今回、講演会でしたが、従前の、市内の活動団体による発表及び分科会形式と比べ、  
どうでしたか？**

(2人 回答)

- A. よかった 28人      B. ふつう 9人      C. よくなかった 0人  
D. 特に何も感じない 0人      その他意見 3人

(回答なし 4人)

その他の意見（3人）

- ・ おもしろい取り組みですね（40代男性）
- ・ 押し付けでない参加者の発言が聴けた（70代男性）
- ・ いろいろな工夫があって、ご苦労様（60代女性）

**Q4** 二つのテーマを軸にお話いただきましたがお話はどうでしたか？

【第1部】後継者をいかに育成するか（75人 回答）

- A. よかった 51人      B. ふつう 24人      C. よくなかった 0人  
D. 特に何も感じない 0人

（回答なし 5人）

その他の意見（4人）

- ・ 活動がバラバラなので難しいですね（40代男性）
- ・ 機会があれば参加したい（60代男性）
- ・ 楽しかった（40代女性）
- ・ 実現するにはむずかしい（60代女性）

【第2部】私たちはどんなまちをつくりたいのか（69人 回答）

- A. よかった 44人      B. ふつう 25人      C. よくなかった 0人  
D. 特に何も感じない 0人

（回答なし 11人）

その他の意見（5人）

- ・ 話し合う時間が少ない（60代男性）
- ・ いろんな人の意見がわかった（70代男性）
- ・ 問題提起のみになり、もっと時間をかけて討論したかった（70代男性）
- ・ 楽しかったです（40代女性）
- ・ 第2部に時間をかけてほしかったです（40代女性）

**Q5** 講演等、希望されるテーマ等がございましたらご記入ください。

（5人 回答）

- ・ 商店街活性化（50代男性）
- ・ 世代間のギャップの埋め方（70代男性）
- ・ 子供、高齢者等、ジャンルをしぼって討論したい（70代男性）
- ・ 海外の先進的な町づくり、ボランティア活動について（50代女性）
- ・ 岸和田の地場産業について（60代女性）

**Q6** この「つどい」についてのご意見、ご感想等があればお書きください。

（8人 回答）

- ・ 各団体に属さない方が参加できる様になればと思う（年代・性別無記入）
- ・ グループにより人の偏りがあるように思えた。立場毎に班でばらけた方がもっと話合いが広がるように思えた（20代男性）

- ・ 引き算のまちづくり（４０代男性）
- ・ 初めて広報で知りました。今後も時間の都合がつけば参加させていただきます（５０代男性）
- ・ １８回も開催されているのには驚きました（６０代男性）
- ・ もっと幅広い世代が参加できるような広報の仕方をする方が良いですね（４０代女性）
- ・ 年齢層をもと巾広く！（５０代女性）
- ・ 今回の講演は、グループワークなので、とても楽しかったです（６０代女性）

Q7 「生涯学習」という言葉にどのような印象をお持ちですか？

（１８人 回答）

- ・ 強制され与えられるものではなく、市民の方々が自らの意識の下、好きなものを学ぶものであると思う（年代・性別無記入）
- ・ シルバー世代の活動？（４０代男性）
- ・ 生涯学習ではなく、地域学習と感じました（４０代男性）
- ・ 以前から名称だけ知っていましたが、内容が理解出来ていませんでした（５０代男性）
- ・ 「生涯」ということばに少々違和感を持ちます（６０代男性）
- ・ 若い者は当たり前、高齢になっても勉強できる機会を今後ともお願いします（６０代男性）
- ・ いつでも、だれでも、ほしいときにできる（７０代男性）
- ・ 自分が自分達のために学習する事（７０代男性）
- ・ 人間死ぬまで学習して行かねばと思う（８０代男性）
- ・ 人が生涯にわたって行う学習活動（３０代女性）
- ・ いきがい（５０代女性）
- ・ ながーく続ける（６０代女性）
- ・ 「生涯学習」って何なの？よく分かっていない自分です（６０代女性）
- ・ 高齢者の生涯教育を思い浮かべました（６０代女性）
- ・ 一生涯を通じて学べることは学ぶ（６０代女性）
- ・ いつでも、どこでも、学び、広げるイメージ（６０代女性）
- ・ 動けなくても寝たきりになってもやっていたいける学習をすべて含めて（例 フトンの中で唱えることも可）（６０代女性）
- ・ 岸和田市の生涯学習を絶やすことなく、今しっかり見つめ、人づくりが町づくりに繋がる大切さを大事に活動していきたい（７０代女性）

Q 8 どのような生涯学習活動に取り組んでいますか？ (複数回答あり)

(回答なし 19人)

A	趣味的なもの	23人
B	スポーツ、レクリエーション	21人
C	家庭生活に役立つもの	6人
D	健康	16人
E	パソコン、インターネット	15人
F	福祉	18人
G	環境	2人
H	ボランティア	30人
I	育児、教育	15人
J	語学	1人
K	リサイクル	2人
L	自然体験、アウトドア	3人
M	社会問題	5人
N	その他	2人

その他 (2人)

- ・ これから (40代男性)
- ・ 歴史、まちづくり (60代女性)

Q 9 生涯学習をしていて、困ったことがありますか？ (複数回答あり)

(回答なし 33人)

A	時間のやりくりが苦勞する	27人
B	費用がかかる	9人
C	施設が遠い	6人
D	情報が分からない	6人
E	施設が使いにくい	11人
F	場所がとれない	6人
G	利用手続きや講座の申し込みが面倒	2人
H	仲間がいない	2人
I	周りの理解がない	0人
J	きっかけがつかめない	7人
K	その他	3人

その他（3人）

- ・ なかなか、新しい仲間が集まらない（80代男性）
- ・ 無料駐車場がない。一日の活動で昼食を食べるところがない（50代女性）
- ・ 市の施設を利用するために、どの施設も同じ条件で使えることを望む（70代女性）

Q10 今回のこの「つどい」を何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

（回答なし 10人）

A	市の広報（ホームページ）	12件
B	情報紙（市の広報以外）	6件
C	チラシ・ポスター	14件
D	知人などの紹介	11件
E	所属団体の動員要請	38件
F	その他	3件

その他（3人）

- ・ 市民協議会通知（70代男性）
- ・ ふみんネットのチラシ（30代女性）
- ・ 福祉センター（70代女性）

Q11 「つどい」に参加しようと思った理由は？（複数回答あり 72回答）

（回答なし 29人）

1	趣味・教養を身につけるため	6人
2	学習のテーマに興味があったから	24人
3	受講料が無料だから	4人
4	参加しやすい時間帯だから	8人
5	会場への交通が便利だから	4人
6	講師が魅力的だから	12人
7	余暇を有意義に過ごすため	1人
8	友人を得るため	0人
9	その他	13人

## その他（11人）

- ・ 参加することになっているから（60代女性）
- ・ 人に誘われて（60代女性）
- ・ 動員（50代女性）（60代女性）
- ・ 市民協での役員のつとめ（70代男性）
- ・ 初めてなので、つどいの内容に関心があったから（60代男性）
- ・ 息子の大学（工学部）の先生が講師でした（50代男性）
- ・ ネットワークづくり（40代男性）
- ・ 役員さんへの協力（40代男性）
- ・ 妻のさそい（40代男性）
- ・ 要請（30代男性）

※今回、おおさかふみんネットより「いきいき市民のつどい」を発信させていただきました。

おおさかふみんネットをご存知の方は次の項目にもご回答ください。

### おおさかふみんネットとは

大阪府と府内市町村が実施する生涯学習連携事業（広域講座）のことをいいます。府内を8ブロックに分け、ブロックごとに各自治体が公開講座や見学会などを行っています。どなたでも、どのブロックの事業でも参加申し込みができます。

■ふみんネットについてのお問い合わせは、大阪府文化・スポーツ課（TEL 06-6210-9323）まで。

■ふみんネットの各ブロックの事業は、大阪府文化・スポーツ課ホームページ「おおさかふみんネット」をご覧ください。  
<http://www.pref.osaka.lg.jp/bunka/news/osakafumin.html>

### Q12 おおさかふみんネットの講座に参加されるのは何年目ですか？

（回答なし 56人）

- ① 初めて 19人      ② 2年 2人      ③ 3年 2人  
④ 4年 0人      ⑤ 5年以上 1人（ 年目）

今後、どのようなジャンルについて学習したいとお考えですか？（複数回答あり）

（回答なし 59人）

1	歴史・文学	12人
2	社会・経済	14人
3	芸能・芸術・伝統・文化	10人
4	自然・環境	9人
5	人権・平和	5人
6	健康・スポーツ	16人
7	パソコン・インターネット	5人
8	調理・暮らし	3人
9	その他	2人

## その他（2人）

- ・ 都市計画と教育（60代男性）
- ・ 語学（40代男性）

## 感想（自由欄）（9人）

- ・ あっという間に時間が過ぎました。色々な方とお話が出来、色々な事を考えるよい機会になったと思います（40代女性）
- ・ テーマが大きすぎて、中途半端で期待外れでした（40代女性）
- ・ 今日は聴くだけでなく、自分の考えを出したり話したりと楽しかったです（50代女性）
- ・ ありがとうございます。次回も参加したいです（60代女性）
- ・ 楽しくパワフルな講師の先生。ありがとうございます（60代女性）
- ・ どうもありがとうございます（30代男性）
- ・ 議員さんの忌憚のない意見がきけてよかった（40代男性）
- ・ 超高齢化社会、地場産業の衰退にともない、今後の方向性に不安が募るばかりです。色々な業種の方々とお話出来る事が役に立つのではと考えました。機会を作って、参加させていただきます（50代男性）
- ・ 本日は1mm以上は成長できたと思います。ありがとうございました（40代男性）

# リフレクション・シート

今日の時間をふりかえりましょう。

感じたままを、以下の文章を完成させる形で書いてください。

全部の文章を完成させる必要はありません。

■ 私が驚いたのは

です。

■ 私がたのしかったのは

です。

■ 私がつらかったのは

です。

■ 私が学んだのは

です。

■ 私が疑問に感じたのは

です。

■ 私が心配なのは

です。

■ 私がこれからしたいこと・考えたいのは

です。

■ 私たちがすべきことは

です。

# リフレクション・シート(集計)

35 枚回収

今日の時間をふりかえりましょう。

感じたままを、以下の文章を完成させる形で書いてください。

全部の文章を完成させる必要はありません。

## ■ 私が驚いたのは

- ・ たくさんの方が参加してくれていたことです。
- ・ 思った以上にいろんな世代の方がたくさん来られていて、皆さんと意見交換できたことです。
- ・ 講師の課題の進め方が上手。
- ・ いろんな人が参加していたことです。
- ・ がんばっている人はどこにでもいることです。
- ・ 参加者が講師の指導で短時間にどのグループでも、みごとなブレインストーミングができたことです。
- ・ こんなたくさんの方々が生涯学習にたずさわっているという事です。
- ・ いろいろな意見考えが感じられて素晴らしいと思った。
- ・ 子育ての問題をとりあげていることが非常に多いです。
- ・ 次世代について考えている人がこのようにたくさんいらっしゃる事です。
- ・ 少しむつかしい勉強に来たようです。
- ・ 「岸和田に大学を」です。
- ・ 皆さんと意見が同じ（よい方向を向いている）です。
- ・ 松岡先生の進行のうまさです。
- ・ 一夫多妻制です。
- ・ 参加者数の多さです。
- ・ 私は今日始めて参加しましたが、ボランティアの皆さん関心が高いのに驚きました。
- ・ 一夫多妻制の言葉です。
- ・ 全グループの問題意識が同じことです。
- ・ 多くの方々が岸和田の未来をこんなに感じ心配してる事がわかったことです。
- ・ 参加人数の多さ多様な方の参加だったことです。
- ・ 本日の参加者の多いことです。
- ・ 先生がざっくばらんで皆の中になじんでいこうとしていたことです。
- ・ みんなが若やぎ楽しんでいました。
- ・ 市民のみなさんの熱心さです。
- ・ この研修でほとんどの人がよく考えスムーズに書き進めていることです。

## ■ 私がたのしかったのは

- ・ 普段関わりのない方とお話しできた事です。
- ・ いろいろな意見が聴けたことです。
- ・ いろいろな立場の人の考え方を聞けたことです。
- ・ ポストイットを貼って、同じ意見の方が多くいたのは楽しいです。
- ・ 地域にあるいろいろな活動について知ることができたことです。
- ・ 他市の方と思いを共有できたことです。
- ・ 参加者それぞれが様々な活動をしていて岸和田の市民はすばらしいと思えたことです。
- ・ 松岡先生が壇上で講演される形でなく、会場を歩き回られて話を進められたことです。
- ・ 世代、職業を越えてわずかな時間でコミュニケーションがとれて、知らないことに興味が湧きました。
- ・ 知った人に久しぶりに会ったことです。
- ・ 動きまわって意見をみた事です。
- ・ いろいろな世代の方とお話できたことです。
- ・ 皆さん、しっかり町づくりを考えていることです。
- ・ グループワークです。
- ・ 様々な世代間の交流です。
- ・ 先生にお話を聞き、いっそうがんばるつもりです。
- ・ 今、自分がしようとしていることを考えてくださっている人がいたことです。  
(子どもと高齢者のつながり)
- ・ グループで楽しく話せたこと、知らない人と話せたことです。
- ・ グループの皆さんの意見が聞けてよかったことです。
- ・ 20年後の町をポストイットで作りあげたことです。
- ・ 一方的な講義だけではなく自分でも考えたこと、そして先生も学んでいるのだと思えたことです。
- ・ 気軽に話し合い気持ちよかったです。
- ・ グループの方とお話できたこと、先生のお話です。

## ■ 私がつらかったのは

- ・ ないです。
- ・ シートに書き込むことです。
- ・ 何も思いつかないことです。
- ・ 20年後がどうなっているか想像もつかなかったことです。
- ・ 名前シールがはがれそうだったことです。
- ・ つらく感じたことが一度もなかったです。
- ・ 自分の意見がみつからなかったことです。
- ・ なかったです。
- ・ 後ろ向きに座っているので話が聞きにくいし首が痛かったことです。

## ■ 私が学んだのは

- ・地域には色々な活動している人が多いことです。
- ・考えて、行動することです。
- ・こんな場がもっと必要だということです。
- ・ポストイットで模造紙に書いて“発表”はよくあるけど、見て歩いて違いに気づくやり方もあるということです。
- ・これからの岸和田をどうつくっていくかです。
- ・いろんな思いを持つ人がいるが、子どもや高齢者の見守りに関心が高い人が多いことです。
- ・今のままで進めです。
- ・20年後を考えることで今の不安や不十分な点が出されるということです。
- ・多くの団体で後継者の育成が問題になっていることです。
- ・子ども、高齢者に対してほとんどの方が共通意識を持っているということです。
- ・共助です。
- ・誰とでもあいさつの出来ることを望んでるということです。
- ・自分のこと、家族のことだけでなく地域のために私にでもできることがあるならしなければいけないです。
- ・人の意見をしっかり聞くことです。
- ・いろいろな人の考えや言葉です。
- ・自身のできることを見つけてがんばってるいらっやる人の心意気です。
- ・いろいろな考えです。
- ・多くの人の気持ちです。
- ・子育て、高齢者、安全、世代間交流など世代が違ってても願っていること思っていることが同じことです。
- ・ボランティアをもっと深く大きく学ぶことです。
- ・社会教育の本質「希望の教育学」を再認識したことです。
- ・皆さんの思いは共通していることです。
- ・知らない人同士でも同じ目的で作業することにより親しくなれることです。
- ・グループの意見をまとめることです。
- ・自分以外の考えがいろいろあったことです。
- ・みんなが仲よく協働できたことです。
- ・ワークショップの進め方です。
- ・多くの人の考えがわかった。

## ■ 私が疑問に感じたのは

- ・これだけ団体が多いのに知らない人が多いことです。
- ・本当に皆、自分事としてまちづくりのことを考えているのか？ということです。
- ・どうしていつも具体的にならないかです。
- ・出来上がったブレインストーミングを検討することがないと、いわゆる書きっぱなしではないかです。
- ・ここで議論していることは正しいですが現実(的)かなです。

- ・一夫多妻制です。
- ・このワークショップこそ、もっと時間をとって、じっくり検証したかったということです。
- ・次世代の人にどう伝えたらよいか、次世代の人がこの講演会に少ないことです。
- ・机上の学問に終わらないだろうかです。
- ・本日のつどいの目的です。
- ・もう少し、統計的な話を先生にさせていただきたかったことです。
- ・この研修で市がどれだけ暮らしやすい岸和田にしてくれるかということです。

## ■ 私が心配なのは

- ・皆が年齢を重ねていることです。
- ・他人任せになりつつある社会です。
- ・こういう場での意見が結局他人事や行政への要望に落ちていくことです。
- ・「20年後こんな町にしたい」で書かれていることは、今、だんだんと失われつつあることが多いということです。
- ・ありません。
- ・いつまでできるかな です。
- ・だんじり祭の歴史的意義を感じて盛んになることのとりあげが少ないです。
- ・せっかく参加されているのに全く意見を発されない方がおられた。いつもこうなのかと心配になりました。
- ・自分の老後です。
- ・特にないです。
- ・後継者問題です。
- ・働きざかりの世代 20~40 代の参加が少ないことです。(一番これからを担う世代が少ない)
- ・次世代の人がこの講演会に少ないことです。
- ・何もないので。
- ・これを具体的にどう行動していけば良いのか。
- ・10年20年先の寿命があるかないかです。
- ・20年後というより、5年、10年後の岸和田の姿です。

## ■ 私がこれからしたいこと・考えたいのは

- ・どうすれば地域・団体間交流が盛んになるのかということです。
- ・仕事にも積極的に参加し、住みやすい町をつくる事です。
- ・いろいろな人をつなぎ、議論して、する場をつくること、そして一緒に動いていくことです。
- ・もっとこの町で働き、生きていくことをしっかり自覚することです。
- ・子ども支援を充実し、地域全体で支えいくように声かけをすることです。
- ・市議会議員として参加されている皆さんの意見をポストイットで見ることが出来た。この意見を市民の総意的なものとして実現に向けて働きたいです。
- ・自分が地域活動者として何が出来るか、何をしたいかです。

- ・サボらないです。
- ・地域の人々とまず「あいさつ」からもっとしていき、つながりをつくっていくことです。
- ・地域で育てられたことを後世に送っていくために恩返し(恩送り)することです。
- ・いろいろな世代の方とお話したいです。
- ・今、岸和田市の生涯学習をたやさないよう、今、しっかり見つめ人づくりが町づくりに繋がることを訴え活動をしていきたいです。
- ・子どもの未来です。
- ・明るい未来です。
- ・なお、いっそうがんばるです。
- ・子どもは宝とと思ってくださる中で、地域でしっかり子どもをそだてることです。
- ・具体的にまちづくりにどう関わっていくのか具体的に考え行動したいです。
- ・好きと思える活動を探すことです。
- ・世界の平和です。
- ・今の活動をしっかりしていく。
- ・子育てしやすい町です。

#### ■ 私たちがすべきことは

- ・世代間、町会間の垣根を越えて交流を盛んにすることです。
- ・将来を見すえ、今何をすべきか考えて、行動することです。
- ・世代、分野、立場を越えて話しあい、地域の課題を自分事として捉えて自ら動き出すことです。
- ・地域の人と連携し子どもの過ごしやすい環境をつくることです。
- ・やはり顔が見れるコミュニティが大切です。
- ・あきらめないことです。
- ・無理をしないでできることを、できるときに、できるだけすることです。
- ・仕事をがんばることです。
- ・未来の子どもたちに何を残せるかを考えることです。
- ・精一杯がんばることです。
- ・誰もが気やすく入れる幼稚園をつくることです。
- ・男女平等参画社会が実現することです。
- ・後継者がいないとあきらめずに可能な限り自分自身ががんばることです。
- ・人に発信していくことです。
- ・後進に誇りをもって譲れる町づくりです。
- ・町の方々の意見を聞きそれを要望していくことです。
- ・子どもたち他の人に対してもう少しあたたかく声がけしたり、接していくことです。
- ・学んだことを実行できたらです。

平成 27 年度 第 18 回 いきいき市民のつどい  
希望のひとづくり、まちづくり  
～次世代におもいを伝えたい～

平成 28 年 1 月 23 日土曜日

■ 参加者 137 名

保育児 2 名・保育者 2 名

手話通訳等申込なし

文字通訳者 4 名（大阪ろうあ会館）



推進本部委員の皆さんで資料準備と受付

第 18 回 いきいき市民のつどい 記録集

発行・編集：岸和田市教育委員会生涯学習部生涯学習課  
岸和田市生涯学習推進本部

所在地：〒596-0072

大阪府岸和田市堺町 1 番 1 号

電話 072-423-9616(直通)

発行年月：平成 28 年 3 月



~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

岸和田市生涯学習推進本部は、生涯学習のまちづくりを市民ぐるみで推進するために設けられ、委員は次の各団体から選出されています。

- 岸和田市 PTA 協議会、岸和田市こども会育成連絡協議会、岸和田市文化協会、
- 岸和田市体育協会、岸和田市社会福祉協議会、岸和田市民生委員児童委員協議会、
- 岸和田障害者・児関係団体連絡協議会、岸和田人権擁護委員協議会、岸和田女性会議、
- 岸和田市医師会、岸和田商工会議所、岸和田市町会連合会、岸和田市中学校校長会、
- 岸和田市議会、学識経験者、岸和田市、岸和田市教育委員会 (順不同)